

20津西第312号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

高知県津野町

町長 明 神 健 夫



「今後の道路行政についての意見・提案」について

標記の件につきまして、別紙の意見並びに提案書を提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望の提案など

高知県津野町

地方における道路の整備状況は関東や関西圏と比較すると大きく立遅れている。特に四国、中でも高知県にいたっては惨憺たるものがある。この状況は、今議論されている道州制の導入にあたってても大きな壁となるものであり、高知県のように道路整備率が全国水準に達していない県については「道路整備の重点県」に指定するなどして、国庫補助の引き上げなど特別枠での道路整備をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②—1 地域の現状と抱える課題

高知県津野町

○現状 本町は高知県の中西部に位置し、日本三大カルスト台地のひとつである四国カルストや四万十川の源流点を有する総面積197,9km²人口約6,900人でその高齢者率は37%を超える過疎高齢化が進む山間の町である。 本町の道路網は、町内を東西に縦断する国道197号と南北に横断する国道439号の二つの国道を中心として県道や市町村道のネットワークが形成されている。 しかしながら、その幹線道路である国道すら幅員が4mに満たない未改良区間が多く落石の危険や、また台風や集中豪雨による通行規制が度々発生している。一方、市町村道においても、幅員が3mに満たない狭隘な道路が多く、また、橋梁においては築40年以上を超えた橋梁も多く、今後耐震補強や改築を必要とする橋梁が多くなるものと予想されている。	○課題 本町を通過する国道439号並びに県道19号は、それぞれ沿線住民にとっては唯一の幹線道路であり通勤や通院などで欠くことのできない重要な道路である。しかしながら、何れも未整備区間が多く、落石や法面崩壊等の危険性が常にあり異常気象に伴う通行規制も度々発生しており、緊急車両の通行にも支障をきたしており、住民の生命や財産を守る上においても早期の道路整備が必要である。 市町村道においても、未改良道路や幅員狭小区間・落石崩壊危険箇所等も多くあり、また老朽橋梁や路面舗装・安全施設等々の既存ストックの維持管理や改築・改良など多岐に亘っての課題が山積している。
--	--

1) 農林業の振興

本町のような山間地域における産業は、農林業の振興や交流人口の拡大なくしては立ち行かない状況にある。ついては、林業資源の多面的要素（治水・保水・癒し・二酸化炭素吸収等々）を高めるため森林の適正な管理育成を行うと共に、用材やエネルギーとしての利活用に積極的に取り組む。また農業においては、限られた農地の有効利用を図るため施設ハウスを活用した付加価値の高い農産物の生産に取り組むと共に、農産物直販システムの充実により消費者との交流に努める。

2) 高齢者福祉の充実

高齢者率が37%を超える本町では、介護や支援・予防など高齢者福祉の充実が最も重要な政策の一つである。ついては、高齢者が安心して生き生きと生活できる環境の整備に努める。

3) 観光の振興

本町は、四万十川の源流点や日本三大カルスト台地の一つ四国カルストなどを有すると共に、豊かな自然の中で育まれた伝統芸能や山村ならではの素朴で味わいのある食文化や、室町時代における五山文学の双璧と称された義堂や絶海をはじめ多くの偉人を輩出した所でもあり、現在、文科省へ「文化的景観」指定の申し出を行なっている。また、近い将来計画される国道改良（439号）に合わせて、街並みの景観保全に努め魅力のある町づくりに取り組み、交流人口の拡大を図る。

以上、3点が本町の取り組むべき重点施策である。しかしながら、狹隘でカーブの多い未整備の山間部の道路は、農林産物の搬送に危険や時間を要し、観光で訪れた人々には「時間的ロス」や「通行不安」を与へ、公共交通機関が少ない地域では高齢者ドライバーが「命がけ」で日々の生活の為に車を運転している。そして、人命や財産を守るべき緊急車両すら通行に支障をきたしているのが現実である。

このような状況は、都市との格差を議論する以前の問題である。ついては、住民が自信を持って将来像を描ける為には、

「地域が必要とする道路の整備」が最も重要な重点施策である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

高知県 津野町

○重点事項 安全・安心な活力のある地域づくり	○ 代表事例 国道439号の整備促進	○期待する効果や評価等 本国道は、四国の山間部を縦走する国道であり、先の総務省の事業評価においては、評価が極めて低い路線である。しかしながら、沿線は四国を代表する森林地帯であり、用材としては無数の森林の持つ多面的機能（治水・保水・排出ガスの吸収等々）は適正な管理や育成が保たれるものである。その意味においても沿線住民同路線の担う役割は大きい。また、沿線の自治体の多くは医療施設が十分でなく、多くが高知市や近隣の市の病院を利用している状況にあり、救急車の搬送時間の短縮が可能となる。	○ その他 危険箇所や通行規制等の解消により安全で安定した日常生活が営まれる。
--------------------------------------	----------------------------------	--	---